

全国初となる浸水レジリエンス債を発行します

～東京海上日動火災保険株式会社と連携～

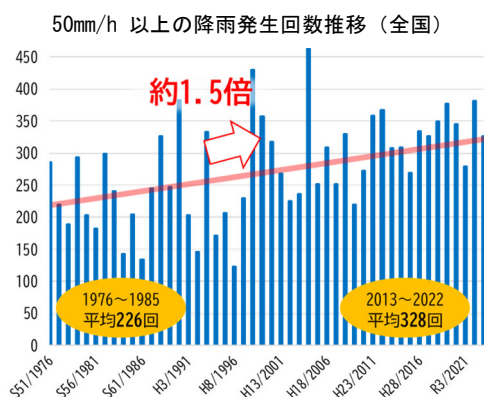
横浜市は、喫緊課題である浸水対策を推進していくため、東京海上日動火災保険株式会社（以下、「東京海上日動」）と連携し、浸水対策に必要な資金「浸水レジリエンス債」※1を発行します（年限：10年、発行額：15億円、利率：1.795%）。この市債は、浸水対策推進のため公民が連携して創り上げ、通常よりも低金利で資金調達する全国初の地方債です。

1 経緯

近年、気候変動等による大雨の影響で、全国各地で浸水被害が多発しています。横浜市は、市民の皆様の安心・安全を守るため、浸水対策を推進しています。一方、近年の金利上昇の影響を受け、資金調達にかかるコストが増大することが課題となっています。

そこで横浜市は、地域社会の災害レジリエンス向上のため取り組んでいる東京海上日動と連携し、通常より低金利での資金調達を実現しました。東京海上日動は、有事の際の保険金の支払いにとどまらず、事前・事後の安心を提供することにも取り組んでおり、水害による損害発生防止・被害軽減を目的とし、水害対策事業を資金使途とした地方債への投資を開始したところです。

今回発行する「浸水レジリエンス債」については、東京海上日動が横浜市の浸水対策事業を高く評価し、通常よりも低利な条件で全額購入することとなりました。



2 浸水レジリエンス債

✓公民連携により創り上げた新しい市債

社会課題

CSRの取組

※2

✓スピード感を持った災害対策

浸水対策事業の推進

✓通常の市債よりも低金利で発行

通常債 ▲0.02%



横浜市



機関投資家

東京海上日動火災保険株式会社

※1 レジリエンスとは…災害に対する被害の防災・減災、復旧を早期化する力

※2 CSRとは…企業が行う組織活動の社会的責任としての活動で、環境や社会に貢献する活動

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



3 浸水対策事業

事業名	事業目的
神奈川処理区エキサイトよこはま 龍宮橋雨水幹線及び 東高島ポンプ場整備事業	30年確率降雨に対する雨水幹線及びポンプ場を整備し、 浸水被害の軽減を図る。
西部処理区中和田雨水幹線 下水道整備事業	5年確率降雨に対する整備を行い、浸水被害の軽減を図る。
西部処理区中田南雨水幹線 下水道整備事業	5年確率降雨に対する整備を行い、浸水被害の軽減を図る。



神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線及び東高島ポンプ場整備事業

4 今後の展望

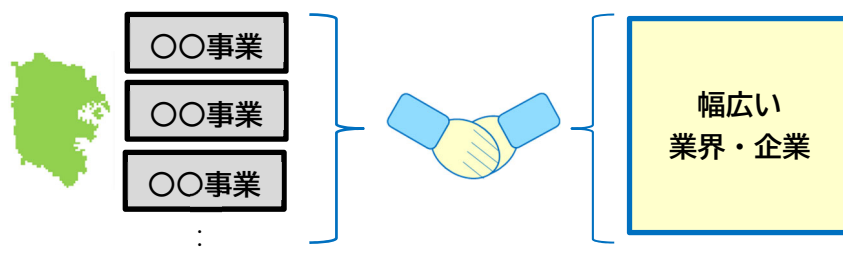
(1) 横浜から全国へ

大雨による被害は全国各地で発生しており、その対応は急務です。「浸水レジリエンス債」を新たな公民連携の取組として全国に波及させていきます。



(2) さらなる社会課題の解決へ

この取組を契機として、横浜市の直面する様々な社会課題の解決に向けて、より幅広い業界・企業との連携にも広がっていきます。



災害に強いまち そして 「人にやさしいまち」へ

お問合せ先

(市債に関する事)	財政局資金課長	古川 聡	Tel 045-671-2240
(下水道事業における市債に関する事)	下水道河川局経理課長	高澤 武	Tel 045-671-2805
(浸水対策全般に関する事)	下水道河川局マネジメント推進課担当課長	中村 大和	Tel 045-671-2613
(浸水対策事業に関する事)	下水道河川局管路整備課長	石田 隆二	Tel 045-671-2814



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

